

第1回 秩父市未来技術社会実装協議会

秩父市 山間地域におけるスマートモビリティによる 生活交通・物流融合事業

秩父市の目指す将来像と事業について

2020年11月6日（金）
秩父市役所

秩父市のこれまでの取り組み【ドローン】

浦山ダム等、秩父市内で様々な取り組みを実施

ドローンハイウェイ構想（2017年4月）

- ・東京電力ホールディングス株式会社及び株式会社ゼンリンと連携して開始

国土交通省・環境省連携事業「ドローン物流の検証実験地域」に採択（2018年8月）

- ・全国5地域の1つに選ばれる

秩父市ドローン配送協議会（2019年1月）

- ・楽天株式会社、株式会社ゼンリン、東京電力ベンチャーズ株式会社との連携
- ※国内2例目のレベル3飛行



出典：ドローンハイウェイ構想
（東京電力ベンチャーズ（株）・（株）ゼンリン）

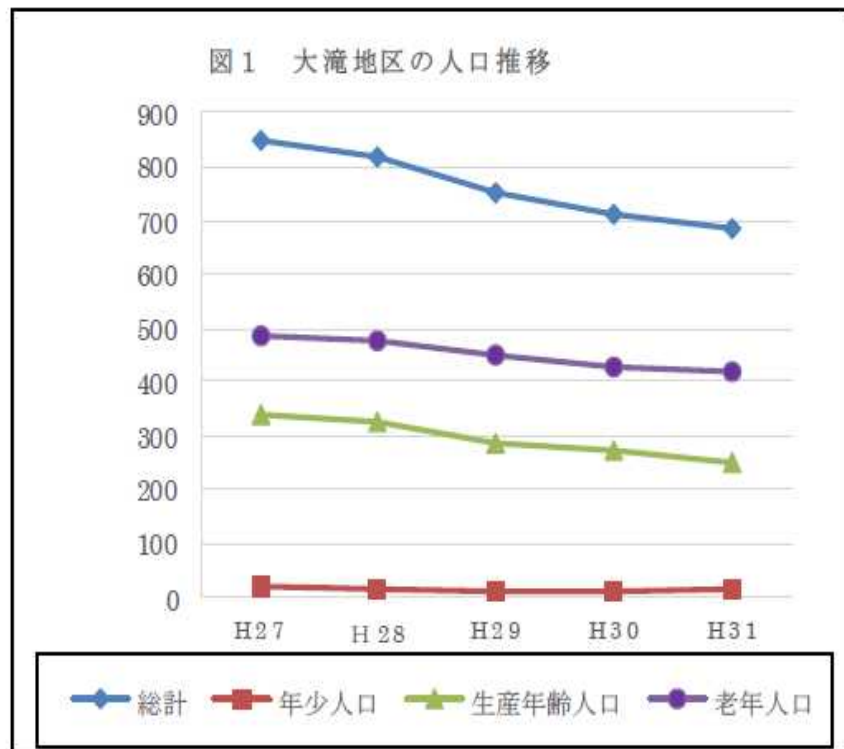


【写真】浦山ダム

ドローンでの取り組み実績を踏まえ、地域課題を取り入れた複合型の取り組みとして今回の事業にチャレンジ ⇒ 2020年8月に採択される。

今回の事業を展開する「大滝地区」とは…

- 大滝地区は市の西部に位置し、谷あい（谷津）集落が点在。生活機能については、隣接する荒川地区や市内中心地区に依存している。
- 大滝地区の人口は減少しており、市内でも減少率が高い地区。



出典：住民基本台帳人口（各年4月1日現在）

秩父市がめざす将来像

■ 秩父市がめざす将来像

- ・未来技術を活用し、人とモノの移動の困難さや着目した山間地域での**物流・公共交通ネットワーク「秩父モデル」**を構築する。
- ・取り組みを通して新たな事業や産業を誘致し、雇用の創出につなげて人口減少や流出を抑制し、地域の活力を生み出すことにより活気あるまちづくりを推進。

■ 解決すべき課題

- ・山間地により、災害時には生活インフラが寸断、観光シーズンには大渋滞で市民の生活にも影響があるため、**物流・交通の新たなモデル構築が必要**になっている。
- ・山間地の住民の多くが高齢者であり、今後、医療受診が困難となる状況が予想される。



【写真】大滝地区トンネル

人気観光地の三峰神社の道中は観光シーズンには大渋滞になることも…

大雪災害の様子
(2014年2月)
1週間以上にわたり孤立



【写真】三峰神社2km手前

採択事業の内容について

● ドローン物流事業

活用技術

ドローン



ドローンを活用して日常の生活用品や医薬品の配送を行い、高齢者や買い物弱者への支援を行う。また、この取り組みにより、災害時における交通インフラ寸断の際の物資輸送のルートを確認する。

● 遠隔医療事業

活用技術

IoT、5G



高齢者が多い山間地域での医療を確保するため、IoTや5Gなどの未来技術を活用してオンライン診療を導入し、地域内の医療機関との連携により、受診困難者への支援体制を構築する。

● 秩父版MaaS（貨客混載・EVカーシェアリング）事業

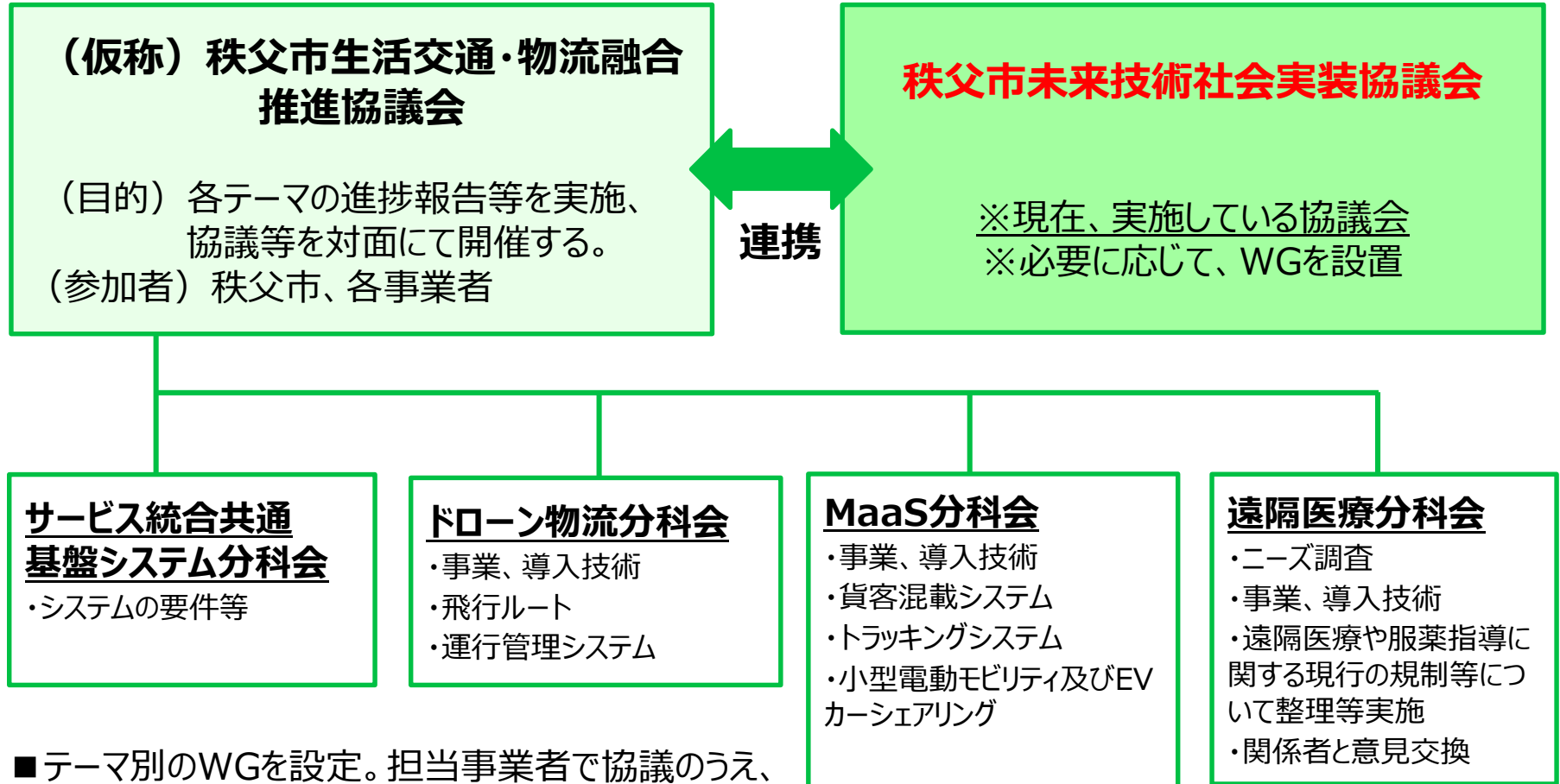
活用技術

自動運転



既存の物流・交通網を生かしながら、地域住民の生活の足の維持と観光客を含めた交流人口の利便性の向上に資する公共交通システムを自動運転（配送）の技術を織り交ぜて構築する。

事業の実施体制（案）



■テーマ別のWGを設定。担当事業者で協議のうえ、プロジェクトを遂行していく。